

令和6年度まち・ひと・しごと創生寄附活用事業評価・外部評価結果について

1. 外部評価の目的

市で実施した内部評価の妥当性を、専門的な見地や市民の目線から検証することで、客観性を確保するとともに、必要に応じて総合戦略の見直しや次年度の取組み内容への反映を行う。

2. 評価対象及び実施方法

令和6年度に実施した「まち・ひと・しごと創生寄附活用事業」について、市で実施した内部評価に対し、河内長野市行財政評価委員会において外部評価を行った。

3. 評価方法

市内部で行った評価資料に基づき、事業の目標を達成するために評価年度に実施した取り組みが効果的であったか、および今後の方向性が適切かどうかの観点で検証を行い、「**妥当**」、「**概ね妥当**」、「**要検討**」のいずれかに分類する。

4. 評価結果

別紙「令和6年度まち・ひと・しごと創生寄附活用事業評価・外部評価結果」のとおり

令和6年度まち・ひと・しごと創生寄附活用事業評価・外部評価結果

■事業の概要

事業①	将来も安心して生活でき、住み続けられるまちを支える公共交通推進事業
令和6年度 実施事業内容	(1) 令和6年度実施事項 - 公共交通網「リ・デザイン」のための実証実験の実施（共創プロジェクト） 令和7年度下半期から実施するリ・デザインに向けて、コミュニティバス新規ルートの実証運行と鉄道・バス共通デジタル乗車券の導入実験を実施するにあたり、関係各所および共創パートナーと協議を進めた。 - 公共交通不便地域への支援 石見川地区の検討会で実施している地域バスと乗合タクシーの運用について、定期的に地域と協議を図り、地域に合ったスキームを検討し、地域バスのダイヤと運賃の改定に取り組んだ。 (2) 背景 - 本市と包括連携協定を締結している南海電気鉄道（株）との連携の過程で、企業版ふるさと納税（人材派遣型）を受入れることとなった。 - 鉄道やバスなど公共交通事業に精通しており、沿線自治体の活性化といった観点からの政策検討が期待されるほか、交通事業者の目線からの意見なども参考にできることから、協議の結果公共交通推進事業での人材受け入れとなった。 (3) 企業版ふるさと納税受領額 6,189,510円（1社）

■市評価結果

評価区分(※1)	評価内容
①非常に効果的であった	○共創プロジェクトについては、これまで鉄道とバスの共通乗車券については、なかなか協議が進まなかったところだが、派遣人材が交通事業者との交渉をスムーズに進め、実現に向けた取り組みができた。 ○公共交通不便地域への支援については、運用にあたり、派遣人材の持つ知見を活かし、ダイヤの見直しや運賃改定について、地域と連携して取り組むことができた。

※1：「①非常に効果的であった」、「②相当程度効果があつた」、「③効果があつた」、「④効果がなかった」

■委員会評価

評価区分(※2)	意見・コメント
①妥当	民間の知見導入を概ね評価する一方で、公共交通の地域性や減便リスク、住民満足度向上の方策については、行政の視点が大事であるという意見、また人材派遣型事業に見合った評価指標の整備が課題として挙げられた。
評価内訳	
①妥当 5 ②概ね妥当 0 ③要検討 0	

※2：総合戦略における位置付け・関連するKPI達成に、「①妥当である」、「②概ね妥当である」、「③検討を要する」

令和6年度まち・ひと・しごと創生寄附活用事業評価・外部評価結果

■事業の概要

事業②	サッカーチームと連携したまちの魅力向上事業
令和6年度 実施事業内容	(1) 令和6年度実施事項 令和5年度実施のUR南花台団地集約事業跡地活用に伴う基本・実施設計による工事発注を実施したが、5月に入札不調（不落）となった。原因は主に近年の物価高騰によるもので、至急事業費縮減の設計見直しを行い、再発注の末11月に落札となった。 設計見直しの際には、市の附属機関として学識経験者や地域住民代表等で構成される「河内長野市UR南花台団地集約跡地活用整備事業推進委員会」に変更内容を諮り、当初設計していた新たなサッカースタジアム併設都市公園のコンセプトを崩さない変更を行った。 設計見直しの期間を要することで新しい公園オープン時期が遅れることを少しでも吸収するため、見直しに係らない土砂搬出工事のみを先行で発注し、8月には着手させた。 サッカーチームとの連携では、河内長野市民デー、選手との交流会等を実施した。 ※令和6年度は前述のとおり執行予定事業が遅れたため、執行事業費すべてについて国庫補助金の充当を行った。 寄附金は改めて令和7年度より（仮称）南花台中央公園整備事業への充当を行う。（以下、令和6年度執行事業費） ・発注支援等業務委託費4,510千円 ・土砂搬出工事請負費（前払金）49,400千円 (2) 企業版ふるさと納税受領額 163,200千円（10社）

■市評価結果

評価区分(※1)	評価内容
③効果があった	・ 工事入札不落により事業進捗の遅れはあったものの、並行してサッカーチームと連携した行事は予定通り遂行でき、寄附金により公園整備が進んでいる地域住民の実感に直結している。 ・ 令和5年度から引き続き、企業版ふるさと納税寄附金を事業費の一部財源として充当し、事業のハード整備が実現しつつある。 ・ 企業版ふるさと納税を活用した事業推進とともに、新たな公園施設完成後に向けた地域参加型のワークショップ、説明会での意見交換により注目度も上昇している。

※1：「①非常に効果的であった」、「②相当程度効果があつた」、「③効果があつた」、「④効果がなかった」

■委員会評価

評価区分(※2)	意見・コメント
①妥当	現行のKPIがスタジアム等「ハード」な成果に偏っており、ワークショップやサッカーチームとの交流といった「ソフト」な取組が数値目標に反映されていないため不利になっているとの指摘が出た。スタジアム完成に依存する指標だと達成が困難になるため、寄附や評価につながるソフト面の努力も指標化すべきという提案があった。また、最終アウトプットに直結するKPIだけでなく、進捗率や進捗を阻む要因などの中間指標や補助指標、実施状況のストーリー（説明）を参考資料等に付けて評価に反映すべきという意見が強調された。材料費高騰や入札の難航など外部要因を踏まえ、進捗が遅れている中での事業実施には一定の評価がなされた。
評価内訳	
①妥当 5 ②概ね妥当 0 ③要検討 0	

※2：総合戦略における位置付け・関連するKPI達成に、「①妥当である」、「②概ね妥当である」、「③検討を要する」

令和6年度まち・ひと・しごと創生寄附活用事業評価・外部評価結果

■事業の概要

事業③	林道整備事業
令和6年度 実施事業内容	(1) 令和6年度実施事項 市管理の基幹林道であり、地区林業の基幹であるとともに、緊急輸送路としての役割も担っている林道千石谷線の整備を実施した。 (2) 背景 ・ 寄附を申し出た事業者（以下、「同社」）より、森林の保全、特に林道等に関することへの活用意向が聞かれた。 ・ 地方版総合戦略の基本目標1「安定した雇用を創出する」の施策2「農林業の振興」において、「林道の基盤」が規定されていることから、寄附金を充当する要素事業の内容として林道整備事業を選定し、事業費の一部に充当した。 (3) 企業版ふるさと納税受領額 10万円（1社）

■市評価結果

評価区分(※1)	評価内容
②相当程度効果が あった	○千石谷舗装について、寄附金の活用により量的充実が図れた。 ○寄附事業者は、林業振興に意識の高い事業者であり、管理作業道の減災対策も行うなど持続可能な林業に向けた取組みを積極的に行っている。 ・ 令和5年度も、同社より同様の趣旨・金額で寄附を受け入れている。 ・ 附属機関「かわちながの森林プラン推進協議会」に同社代表が委員に就任（令和4年度より） ・ 同社については、経営管理実施権配分計画に係る選定事業者にも選ばれており、経営管理された森林を増やす上で林業体としての役割を担っている。

※1：「①非常に効果的であった」、「②相当程度効果があった」、「③効果があった」、「④効果がなかった」

■委員会評価

評価区分(※2)	意見・コメント
①妥当	河内長野市は山地が多く林業が重要である点で一致したが、「林業従事者数」を指標とすることの適切性に疑問があるとの意見があった。最終アウトカムの設定が現場と乖離している可能性が指摘され、充当率や寄附者数などより具体的で説明しやすい指標を用いること、行政内部で寄附を活用して事業を推進する意識醸成や仕組みづくりなどの提案があった。
評価内訳	
①妥当 5 ②概ね妥当 0 ③要検討 0	

※2：総合戦略における位置付け・関連するKPI達成に、「①妥当である」、「②概ね妥当である」、「③検討を要する」

令和6年度まち・ひと・しごと創生寄附活用事業評価・外部評価結果

■事業の概要

事業④	誰もが活躍できる環境整備により、まちの活力向上を図る産業振興事業
令和6年度 実施事業内容	(1) 令和6年度実施事項 - 派遣人材には、主に本市産業用地開発に係る業務を担っていただいている。委託事業者や関係機関等との技術的な調整により、円滑な事業の実施に努めた。 (2) 背景 - 本市と包括連携協定を締結している南海電気鉄道（株）との連携の過程で、企業版ふるさと納税（人材派遣型）を受け入れることとなった。 (3) 企業版ふるさと納税受領額 5,447,600円（1社）

■市評価結果

評価区分(※1)	評価内容
①非常に効果的であった	人材の派遣に加えて、当該人材の人件費も寄附いただくことができ、市の負担なく事業の推進を強化することができた。

※1：「①非常に効果的であった」、「②相当程度効果があった」、「③効果があった」、「④効果がなかった」

■委員会評価

評価区分(※2)	意見・コメント
①妥当	派遣型で専門的知見を活用できた点は評価されたが、KPIでは事業内容や成果の中身が読み取れないとの指摘があった。事業内容については、地域住民の理解を得ながら進める必要がある点も強調され、知見の蓄積や人材派遣制度の効果を示す補助指標を設定し、最終アウトカムだけでなく中間評価ができるようにすることが求められた。
評価内訳	
①妥当 5 ②概ね妥当 0 ③要検討 0	

※2：総合戦略における位置付け・関連するKPI達成に、「①妥当である」、「②概ね妥当である」、「③検討を要する」

令和6年度まち・ひと・しごと創生寄附活用事業評価・外部評価結果

■事業の概要

事業⑤	ふるさと納税を通じた市の活性化推進事業
令和6年度 実施事業内容	(1) 令和6年度実施事項 ・派遣人材には、令和5年度から引き続き各ポータルサイトの管理と返礼品を出品する事業者との折衝など、ふるさと納税事業の業務全般を担っていただいた。 - 各ポータルサイト内で掲出される返礼品の画像の充実や、各事業者との関係深化に努めた。 - さらに、令和6年度はふるさと納税や地域活性化に関連する各種イベント業務も担っていただいた。 (2) 背景 ・本市と包括連携協定を締結している第一生命保険（株）との連携の過程で、企業版ふるさと納税（人材派遣型）を受入れることとなった。 (3) 企業版ふるさと納税受領額 6,600,000円（1社）

■市評価結果

評価区分(※1)	評価内容
①非常に効果的であった	人材の派遣に加えて、当該人材の人件費も寄附いただくことができ、市の負担なく、事業の推進を強化することができた。

※1：「①非常に効果的であった」、「②相当程度効果があった」、「③効果があった」、「④効果がなかった」

■委員会評価

評価区分(※2)	意見・コメント
①妥当	質疑・意見等なし。
評価内訳	
①妥当 5 ②概ね妥当 0 ③要検討 0	

※2：総合戦略における位置付け・関連するKPI達成に、「①妥当である」、「②概ね妥当である」、「③検討を要する」